

献立ひとくちメモ

2月3日(月)



節分は、「季節の分かれ目」
を意味しています。冬から



春へと季節が移り変わる「立春」は特に大切に

されてきました。大豆は、昔から特別な力があると信じられてきました。「鬼は外、福は内」と唱えながら家の中や出入り口にまいて、鬼=邪気をはらい、自分の年の数（または年の数+1粒）の豆を食べ、1年の幸福を祈ります。



節分の日はその年の恵方（神様がいる方向）を向いて、太巻き（恵方巻）を食べる風習が昔からあります。

今年の恵方は「西南西」です。



鬼は鰯のにおいが苦手なので、家の戸口や門に「ヒイラギイワシ」を飾って鬼を追い払います。

「ヒイラギイワシ」とは、ヒイラギの枝に、
焼いたイワシの頭を刺したものです。

